



LNGを活用し、CO₂とコストの削減を実現！

オリオンビール株式会社名護工場

環境性に優れるLNG

風 光明媚で緑豊かな名護岳のふもとに立地するオリオンビール名護工場（石川雅弘工場長は2017年2月、ビール製造に使用するボイラ燃料としてLNG（液化天然ガス）を導入した。LNGは化石燃料の中でも、特に環境性に優れる「クリーン・エネルギー」として知られている。

同工場がLNGの導入を決めたきっかけについて、製造本部エンジニアリング部の上間厚志部長代理は「沖縄電力さんの吉の浦火力発電所の稼働でLNGの調達が県内で可能になったことと、工場のボイラ更新の時期が重なったこと」と話す。吉の浦火力発電所（中城村）は電力の安定供給と温室効果ガス削減を目的として、沖縄電力が2012年にLNGを燃料とする発電方式の運転を開始した施設だ。

スイッチ一つでメンテナンス要らず

私 たちが環境への取り組み強化と省エネを推進する中で、LNGはとても魅力的でした。それまでボイラ熱源として使用していた重油と比較して約30%のCO₂が削減でき、ボイラ効率も向上しています」（上間部長代理）。CO₂削減のために使用して



LNGを使って生成した蒸気が使用される仕込釜

ガスボイラ室

いた廃食油は、CO₂の削減とコストの面では評価できたものの安定調達に課題があり、また油の質が良くないため毎日フィルタを2個用意し、まめに掃除をしながら切り替えて使用する状態だった。

一方でLNGは「ボイラのバーナ清掃など日々のメンテナンスはまず必要ないですね。家庭用ボイラのようにただスイッチを入れるだけ」とエンジニアリング課の嘉手苅健一課長は説明する。LNGを貯蔵するサテライ



サテライト施設をバックにガッツポーズをするスタッフ

県内ビール製造業最大手のオリオンビールは、環境への取り組み強化と省エネを目的にLNG（液化天然ガス）を導入した。同事業の立ち上げから導入、稼働まで携わっている名護工場の精鋭3名に、導入に至る経緯や実際の効果などについて伺った。

ト施設は遠隔監視のみで、吉の浦火力発電所からLNGの充填にやって来るタンクローリーの受け入れ時に職員1人が立ち会う程度だという。維持管理や運用に掛かるコスト面でも、かなりのメリットがあるということだろう。

事業を一気に加速させた補助金制度

同 社の取り組みを後押ししたのが環境省の補助金制度だ。環境省は企業の業務・産業部門におけるエネルギー起源のCO₂排出を大幅削減するため、先進的で高効率な低炭素設備機器等の導入を支援するASSET事業を実施している。LNGの導入に当たっては、同事業における補助金制度の活用が決まったこともあって経営層からゴーサインが出た。

「LNG導入にかかる経費の3分の1が補助金で賄えたのは大きいですね。投資回収の

自然環境に配慮しながらも品質で勝負

県 内で一番大きなLNGタンクの容量を誇る同社工場。エンジニアリング課の崎山誠主任は「使用量を想定しながら、沖縄電力さんと協議を重ねてタンクの容量を決定しました。原則3日分の燃料を確保できるように充填していますので、台風接近時でも対処できるということです」と説明する。

今後LNGの導入を検討している企業に対して、上間部長代理は「私たちはビール工

環境に優しいLNGがエネルギーの削減に貢献



オリオンビール株式会社
専務取締役工場長

石川 雅弘

2017年2月にLNGを導入して、約1年が経過しました。導入に当たっては沖縄電力さまの協力（コンサルタント）を得て、LNGタンクの容量など諸条件を検討しました。タンクローリーの輸送ルート（道路幅）の課題もありましたが、地域の協力を得て現在順調に稼働しています。

LNGは環境に優しく、低炭素社会に貢献し、ボイラ効率の向上によるエネルギーの削減にも貢献するものと期待されます。また、従来使用のA重油に比べ、メンテナンスが容易であることも特長です。

オリオンビール名護工場はISO-14000を取得し、環境目標としてエネルギーの削減（炭酸ガス排出量の削減）に取り組んでおり、LNG導入はその一環となります。



ハッピーパークでは新鮮なビールが飲める

当社は昨年、県民の皆さまに愛されて創立60周年を迎えることができました。県民の皆さまに感謝し、これからも環境に優しい企業として歩んでいきます。

場の見学を受け入れていますので、ご要望があればLNGのサテライト施設もいつでもお見せできます。技術的なことは沖縄電力さんに問い合わせるといいですよ（笑）」と設備見学を歓迎する。

沖縄に生まれ、県民に愛され、県のリーディングカンパニーとして「沖縄から世界へ」を旗印に成長を遂げてきたオリオンビール。世界がCO₂の削減に取り組む今、同社のエコフレンドリーな姿勢は高く評価されるべきものだろう。こうした姿勢を評価する声は、設備投資を上回るメリットとして同社を支えていくに違いない。



上間部長代理（中央）、嘉手苅課長（右）、崎山主任（左）

お客さまのニーズに合った最適なエネルギーをご提案します。

沖縄電力グループでは、電気と天然ガスの最適な組み合わせをご提案し、エネルギーを通じた事業運営の最適化や安定化についてお客さまをご支援しております。

エネルギー診断から、ファイナンスサポート、システム設計・施工まで、エネルギーの利用に関するあらゆるニーズにワンストップで対応しますので、省エネ・省CO₂への取り組み、エネルギーコストの低減等でお困りの際は、下記問い合わせ先までご一報ください。

沖縄電力(株) ソリューション営業部 法人エネルギーグループ
〒901-2602 浦添市牧港5丁目2番1号 TEL.098-877-2341 内線3633～3635



私たちにお任せください！

◀県内最大容量を誇るLNGタンクと2つの気化器で構成されるサテライト施設